

地震、土砂災害時の救急救助技術 ～大規模災害を想定した訓練を実施します～

JICA 関西は大阪市消防局の協力のもと、開発途上国で救急救助に携わる研修員が、自国で技術指導者となるための技術を伝える「救急救助技術」研修を実施しています。7月21日から実施している本研修も終盤にさしかかり、応用技術を学ぶ機会が増えています。

9月5日～6日、大規模災害対応訓練「CSR（瓦礫救助）」「土砂災害救助」を実施します。大規模災害発生時の対応について概論を学んできた研修員が、実技で訓練する機会となります。

研修員への取材とインタビューを、是非ご検討ください。

日程	研修（訓練）内容
9/5(木)	【瓦礫救助】地震などにより瓦礫の下敷きになった要救助者を救助する訓練を実施します。
9/6(金)	【土砂災害救助】大規模な土砂災害を想定した救助訓練を実施します。

1. 場所：大阪市消防局 高度専門教育訓練センター（東大阪市三島2-5-43）
2. 参加研修員：7か国8名（参加国：エジプト、ガンビア、ジョージア、ナウル、バングラデシュ、ミャンマー、ヨルダン）
3. 実施時間：9時～17時半（12時～13時は昼休憩）
4. 全体研修期間：2019/7/21～9/28



本研修を通じ、JICAは持続可能な開発目標(SDGs)のゴール11の達成を目指しています。
 ゴール11: 包括的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

～ご取材いただける場合は9月4日までにご連絡ください。～

【本件に関する問い合わせ先】JICA 関西 業務第一課 宇陀 文香
 TEL 078-261-0386 e-mail: Uda.Ayaka.2@jica.go.jp